

この色の部品は、配布セットに含まれます。

この色の部品は、プログラムを書き換えなければ不要

部品番号	部品	備考	数量
D1-D19	1S1588	互換品等、適当に	19
R1-R19	470オーム		19
TR1-TR19	2SC1815		19
RY1-RY19	TQ2-5V、G6H-2(5V)	ピンアサイン同一で5Vの物	19
R20~R51	アッテネータ定数	別表を参考のこと	32
R52-R57	4.7Kオーム		6
R58	47~100オーム		1
VR1	10K VR	液晶輝度調整用	1
C1	1000uF/16V		1
C2	470uF/16V		1
C3	47uF/10V	OSコン推薦	1
C4,C5	220uF/10V		1
	0.1uF	プログラムをしなければ不要	5
MAX232	ADM3203等	プログラムをしなければ不要	1
RS232C	RS232Cコネクタ(雌)	プログラムをしなければ不要	1
RUN/PGM	ジャンパポストを立てる	プログラムをしなければ不要	1
PGM Con.	ジャンパポストを立てる	プログラムをしなければ不要	1
LCD Pow.	ジャンパポストを立てる	詳細後述※1	1
Button Con.	ジャンパポストを立てる	詳細後述※2	1
LCD	ジャンパポストを立てる	詳細後述※3	1
液晶モジュール	16x2、20x2の液晶	秋月通販コード「P-36」 オプトレックス社 C-51505NFQJ-LW-AD (黒白液晶)	
IR RECV	IR受光部		1
SW1-SW4	タクトスイッチ		4
PICBASIC IC-STAMP	マイコン	プログラム書き込み済み	1

組み立てのポイント

- ・PIC-BASICモジュールは、PAD1~PAD3をショートさせること。なおPIC-BASICは、全数検査済みである。よって安心して使用できるはずである。
- ・ケースに入れるとき、基板の真ん中のスペーサーを金属製にするとケースにGNDが落ちる
- ・三端子レギュレータは、シャーシ放熱とする。シャーシに放熱できない場合、かならずヒートシンクをつけること
- ・※1 LCD Pow!について。液晶の電源極性に気をつけること。秋月電子の通販コード「P-36」の液晶を使う場合は、0-1,2-3ショート(ノーマル)となる。他の互換液晶を使う場合は、注意！間違えると燃えます。
- ・※2 Button Con.について。L,D,U,Mが、各ボタンに対応している。これらをGに落ちるように配線を延長すれば、パネルづけボタンの配線が容易になる。すなわち、タクトスイッチから配線を引き延ばす必要はない。
- ・※3 LCDについて。配線を延長するとき、フラットケーブル等を使うときは配線の奇数偶数が入れ替わらないように注意すること。

プログラミング子基板について

付属の子基板は、プログラムを書き換える際に使用する

部品表水色の部品を実装する。アッテネータ基板と子基板の接続はPGM Con.Iにて接続する

プログラムを書き換えない限り不要。下記 アッテネータ定数 の項を読み、書き換える必要があるか確認をすること

アッテネータ定数

好みでチョイスする。説明書アーカイブ内の”抵抗”フォルダ内にある、”ノーマル用”フォルダを参照し、好みの定数をえらぶ。 ノーマル以外が必要な場合、マイコンのプログラムを書き換える必要がある。

レベルと部品番号の対応は以下のとおり

レベル	部品番号
15	R20,R21,R50,R51
14	R48,R49
13	R46,R47
12	R44,R45
11	R42,R43
10	R40,R41
9	R38,R39
8	R36,R37
7	R34,R35
6	R32,R33
5	R30,R31
4	R28,R29
3	R26,R27
2	R24,R25
1	R22,R23